知っ得情報！

2025年
8月号

PEACE ONE
発行元
株式会社ピースワン
〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-2-7
あべのメディックス11階
TEL：06-6631-0303
FAX：06-6631-0703

◆意見があるのに言いづらい...沈黙のリスク◆

さて、あなたは社内のミーティングで、沈黙の空気を感じたことはありませんか？

◆ ―――――――――――――――――――――――――――――― ◆

意見があるのに言いづらい…「組織の沈黙」がもたらすリスク

◆ ―――――――――――――――――――――――――――――― ◆

日常の会議やミーティングの場で、誰も意見を出さず、静かに終わってしまう。
そのような光景に心当たりはないでしょうか。実はこれ、多くの経営者が密かに抱えている悩みの一つです。

一見、トラブルがない落ち着いた状態に感じられるかもしれません。
しかし、この「沈黙」は組織の成長や存続に深刻な影響を及ぼす重大なリスクをはらんでいます。
組織の沈黙は、必ずしも「控えめな姿勢」や「思慮深さ」から生まれるものではありません。

実は、意見や問題意識があっても言い出せない空気が、社内に広がっているサインかもしれないのです。
この状態を放置すれば、さまざまな問題に気づく機会を逃し、手遅れになるリスクが高まります。
さらに、発言できない閉塞感は社員のモチベーション低下を招き、
優秀な人材の離職や、組織の活力低下にもつながりかねません。

では、「組織の沈黙」を防ぐためにはどのような取り組みが効果的なのでしょうか。

― ―

実際に、ミーティングの活性化に成功している企業は、以下のような取り組みを実施しているそうです。
■ミーティング冒頭に「どんな意見も歓迎する」と宣言する
■経営層が率先して耳を傾ける姿勢を示す
■考える時間を設け、全員に一言ずつ発表してもらう
■誰かが発言したあとは必ず拍手やリアクションをする
など。

― ―

共通しているのは、「発言しても否定されない」「意見を聞いてもらえる」という【心理的安全性】を確保することです。
小さな意見や違和感でも、まずはしっかり受け止める姿勢を示すこと。

そして、提案や問題提起があったときにもすぐに否定したり、軽く流したりせず、一度受け止めたうえで対話を重ねることが大切です。

組織の沈黙を破るカギは、大がかりな仕組みよりも日々の積み重ねにあります。
従業員一人ひとりの声を大切にし、風通しのよい組織をつくっていきましょう。

□■□――――――――――――――――――

編集後記

――――――――――――――――――□■□

今回は「組織の沈黙のリスク」をテーマにお伝えしました。
会議中の沈黙は放置されがちな問題ですが、そこに向き合い、改善していく姿勢が重要ですね。
当社もミーティングの在り方を見直してみようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ピースワン　保険　　検索

【弊社ホームページ公開中！！】
https://www.peace-one.co.jp

弊社LINE公式アカウントです！→
お友達登録をよろしくお願いします